

議会だより

平成31年 2 月

No. 102

あさくら

題字は、厚沢部保育所 たんぽぽ組の朝倉華^{あさくらはな}さんです。

新春鹿子舞交流会



1月27日(日) 新春鹿子舞交流会



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメイクイン」を守ろう!～



公共施設整備基金積立金など9410万3千円を補正

一般会計総額49億2049万1千円

第4回定例会が12月11日招集され、補正予算等11件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算 一般会計

歳入歳出それぞれ9410万3千円を追加し、総額49億2049万1千円となりました。
事務事業の確定と今後の所要見込額を勘案し、各項目の増減調整が図られています。
追加補正された主なものは次のとおりです。

- 土地購入費
(172万4千円)
- 公共施設整備基金積立金
(1億円)
- ふるさとづくり基金寄附積立金
(500万円)

質疑応答 (要旨のみ)

- 生活維持路線バス運行費補助金 (51万9千円)
- ふるさと納税業務委託料 (300万円)
- 障害者自立支援給付システム改修委託料 (49万4千円)
- 児童手当負担金過年度精算返還金 (65万9千円)
- 後継就農奨励金 (50万円)
- 長期借入金償還元金 (129万7千円)

まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は3月6日（水）からです。

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。

問 土地購入費の内容について教えてください。

答 道の駅整備に必要な緑町の道路用地購入費です。

国保会計

国保税還付金など146万5千円を追加し、総額5億8155万3千円となりました。

介護保険会計

保険事業勘定において、職員手当等19万9千円を減額し、総額6億3823万円となりました。

簡易水道会計

職員手当等5万3千円を追加し、総額4億1605万4千円となりました。

農業集落排水会計

本町地内マンホールポンプ制御盤柱支線移設工事費など6万9千円を追加し、総額2億1370万4千円となりました。

各会計補正予算額一覧表

会計名	区分	補正額	補正後の額
一般会計	計	9410万3千円	49億2049万1千円
国民健康保険事業特別会計		146万5千円	5億8155万3千円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	△19万9千円	6億3823万円
簡易水道事業特別会計		5万3千円	4億1605万4千円
農業集落排水特別会計		6万9千円	2億1370万4千円

(△は減額補正)

条例

●厚沢部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

●特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町認定こども園条例の制定

●厚沢部町子ども発達支援センター条例の制定

協定

●定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結

議員派遣

●函館厚沢部会総会

目的 意見交換、交流
場所 函館市
期日 2月2日
派遣議員 山崎 孝

●檜山管内町村議会議員研修会

目的 分権時代に対応した議会の活性化及び議員の資質向上を図るため
場所 せたな町
期日 2月6日
派遣議員 全議員

●東京厚沢部会総会

目的 意見交換、交流
場所 東京都
期日 3月17日
派遣議員 鈴木 祥司
高田 一弥

議会のホームページをご覧ください！

議会の日程や会議録等の議会情報をお知らせしています。

厚沢部町のホームページから移動するか、「厚沢部町議会」で検索してください。

厚沢部町ホームページアドレス [Http://www.town.assabu.lg.jp](http://www.town.assabu.lg.jp) →「厚沢部町議会」へ！！

一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

質問 1

国道227号の改良工事と管理運営について
中山俊勝 議員

今年度は新中山トンネルの法面工事等を実施
渋田町長



中山議員

問

国道227号の改良工事と管理運営についての質問です。
①現在実施されている、改良工事の進捗状況は。
②将来の工事展望はどのようなになっていますか。
③国道の通行止めが発生した場合の町民への周知方法はどのようなになっていますか。

答

①新中山トンネルの厚沢部町側入口の法面工事、トンネル経路の地質調査、環境調査を実施しています。また、木間内除雪ステーションについては来年度に完成予定で、トイレ等一部を一般開放する予定とのことです。

②高規格道路「木古内・江差」間を江差町側から工事着手するように平成27年度に設立された整備促進協議会で要望活動中です。

③北海道開発局では、一般住民へテレビ、ラジオ及び道路情報版での周知を行っています。また各市町村へはファックスで伝達され、情報は町のホームページでもお知らせしています。

質問 2
総合給食センターの管理運営について（異物混入の発生状況等について）

問

①異物混入等の発生状況はどのようなになっていますか。
②アンケート調査を実施した結果を教えてください。

限りなく安全な給食提供に努めたい

鈴木教育長

答

①大変残念なことに、給食にビニール片が混入する事態が発生しましたが、児童が異物に気付いたことにより被害はありませんでした。児童・保護者に謝罪し今後、危機管理対策マニュアルの策定に向けて取組みを急いでいるところです。

②アンケート調査の回答率は小学校で97・6%、中学校で90・6%でした。内容については、主な3項目では、「給食が好きですか」では、好きと回答があったのが小学校で78・8%、中学校で81・8%

でした。「主食のご飯、パン、麺類の量について」では、普通と回答したのが小学校で63・2%、中学校で65・3%で、多いと回答した割合と合計すると約9割を占めていることから、ほぼ主食の量は適正であると考えています。「麺類等の味付けについて」では、濃い割合より、薄い割合が高いことから、味付けは少し薄めであると思われます。今後も調査を継続的に実施し、健全な発育・成長を促す、望まれる給食を目指していきたいと考えています。

質問 1

渋田町政4期目における姿勢と体制について
山崎 孝 議員

高齢者も若者も安心して暮らせる町実現に向け、来期も挑戦したい
渋田町長



山崎議員

問

平成31年4月、統一地方選挙が実施されます。本町においても町長・町議会議員選挙が実施予定であり、町長に現職としての今後の姿勢及び体

制について所見を伺います。

答

平成19年4月27日に町長を拝命して、早くも12年という月日が過ぎ去りました。平成19年度の当初予算額は、34億3,000万円でしたが、10年後の平成29年度では、53億2,400万円と町の財政規模が伸び、順調な町づくりを進めることができたと考えています。しかし総合計画に基づく行財政対策等を実行してきましたが、様々な問題がいまだ山積しています。特に少子・高齢化に伴う人口減少対策は、積極的な企業誘致などの施策が必要であると考えています。また国保病院では国の誘導が積極的になつてきた公営企業法の適用、医師確保などの問題を抱えています。また、主要産業の育成については、強い農業づくりの推進、さらには国営相和地区農地開発事業に伴う負担金問題など大きな課題が残っています。将来の子供たちに健全な町を引き継ぐことや、高齢者も若い人も安心して暮らせる町をつくる、そのための努力を継続していく必要があると考え

ています。

私の志を支える気力と体力が十分にあると自分でも判断し熟慮を重ねた結果、来期に向けてさらに挑戦したいと考えています。

質問2 国営相和地区農地開発事業について

問

国営相和地区農地開発事業にかかる受益者負担金における状況と滞納残額の納付計画について、以下の5点について質問します。

①受益者との間で連帯保証等は結んでいますか。
②滞納額にかかるリスク管理は。

③滞納金不納額の対応について。

④滞納金納付計画についてはどのようなになっていますか。

⑤決算審査意見書に対する認識はどのように考えていますか。



納付計画の見直しや財産の保全など内容を精査し、早期の納入を促したい

答

①引渡し時及び負担金賦課時点での連帯保証はありません。
②及び③本負担金は国税徴収法に準ずる公債権であり、平成9年度の賦課開始から現在まで催告、分納納付、場合によっては差押えなどの処置を講じています。しかし、法律的な限界もあり、未納者が死亡した場合、その残された財産等の状況により全額徴収できず不納欠損にいたる場合もあります。
④現時点で残っている未納者は14名であり、このうち10件は具体的な納付計画に基づいて現在処理している状況です。納入方法と年数はそれぞれ異なりますが、現時点では全額納付されるものと考えています。しかし、事業開始・徴収開始からかなりの年月が経過していることも事実であり、納付計画の見直しや財産の保全など内容を精査し、早期の納入を促していきます。また、計画的な納付がないも

質問1

TPP発効等に対する本町農業の独自対策について
佐々木宏議員
未来を見据えた技術の導入と経営の安定、担い手の確保を
渋田町長



佐々木議員

問

政府は農林産業への強化策を打ち出していますが、国の政策とあわせて町独自の政策を講じていく必要があると思います。次で、次の4点について町長の考えを教えてください。

①収入保険制度への加入状況は。

②スマート農業推進に向けた支援について教えてください。

③スマート農業実証農場設置の考えは。

④小規模農家支援、ハウス事業の町単独で支援する考えは

ないのか。

答

①制度の対象者が青色申告を行っている個人・法人に限定されています。現状の共済制度やならし対策において、収量減少や価格低下に対応しているため、収入保険制度のメリットが見えにくい点もあり、12月11日時点での申込み件数はゼロとなっています。

②スマート農業を導入するため、GPS基地局を町内3か所に設置しました。平成30年度は国の補助事業を活用し、GPSガイダンスや自動操縦の導入を促進しています。

③実証農場の導入については、先端技術を持った研究機

関や事業者、農業生産者団体の、一体となった推進が必要であり、また、その持続性も課題となります。現状では、確立された技術について補助金を活用し、いち早く、有利な条件で導入できる環境の構築がより現実的であると考えています。

④現在、「農に生きるパート7」を策定するためのワーキンググループを設置し、定期的に内容を協議しています。その中で営農規模及び類型ごとの、あるべき姿について議論される予定です。その議論を踏まえ、ハウス事業にかかわらず町全体の農業をどのように発展させていくかを検討し、判断したいと考えています。

質問 2 元気な地域づくりの 推進について

問

元気な地域づくりに向けて、人口減少、高齢化が進む中でも元気な集落を維持できるように、また、町内会が主体的に取り組めるような、丁寧できめ細やかな行政の対応が必要であると考えますが、

次の4点について町長の考えを教えてください。

①町内で8地区の限界集落はどこか教えてください。
②元気な地域づくり支援事業実施の考えはありますか。
③集落振興支援条例立案の考えはありますか。
④町内会支援窓口の設置はどのようになっていますか。

地域住民の活発な 交流や助け合いな ど町内会の活動を 支援

答

①平成30年5月末住民基本台帳をもとに町内会単位でみると、美和、滝野・稲見、清水、鶯、木間内・社の山、城丘、中館、富里の8地区ですが、地域の活力とは、単に年齢で判断するべきではなく、地域住民の活発な交流や互いの助け合いなど、固い絆が大切だと認識しています。

②各町内会からの町政要望や各地区での座談会の開催により町民から意見・要望を施策に反映させています。さらに、町との連携や住民の利便性を図りながら、防犯活動、敬老

会、LED照明設置など、町内会での活動に対しての支援を実施しています。今後も町民の声に耳を傾けて健全財政を維持しながら施策を展開していきます。

③素敵な過疎のまちづくり基本条例の中で、自治活動の推進やコミュニティの活性化もうたっているため、集落振興に特化した支援条例の考えはありません。

④町内会連絡協議会の事務局である総務政策課住民運動係が窓口になっています。



総務文教・産業厚生各常任委員会で行った所管事務調査の内容をお知らせします。

○総務文教常任委員会

第2回調査日 10月23日

1 ふるさと納税について

ふるさと納税の現況と今後の取組みについて、資料により説明を受けた。

今年度から運営を民間業者へ委託されたが、初年度ということもあり件数、金額とも

に昨年度よりも大幅に伸びた。返礼品では、トウモロコシのゴールドラッシュが圧倒的な人気であったが、予定以上に件数が急増したことや天候不順による不作により数量が確保できない状況が続いたとのことであった。今後は、

契約農家の増加や限度数量を設定する等の検討も必要である。
2年目以降も同額以上の寄附を集めさらに、厚沢部町の認知度アップにつながるよう、町、委託業者及び契約生産者が一丸となつてなお一層のPR活動に努めるべきである。

2 公営塾の運営について

公営塾の運営状況について現地にて資料説明を受けた。都市部と同等な教育機会の実現すること目的に、今年10月に開校した公営塾は、受験を目前に控えた厚沢部中学校3年生を対象とし、約7割にあたる21名が入塾しスタートした。塾生を中学校1、2年生や高校生まで対象を広げる予定があるとのことであったが、塾で教える2名の講師からは現状の21名が限界であるとの意見もあり、保護者の要望もよく聴いた上で人員配置等の

体制について検討していく必要がある。

開始初年度でもあり、周囲の期待も非常に大きいので、来春には塾生の希望が叶うように、塾の運営を支援していくべきである。

3 統合後の中学校課題について

厚沢部中学校の校舎の修繕状況と統合後の中学校の課題について、現地調査を実施した。校舎については、建築後約40年が経過し、外壁・内装で多くの場所劣化がみられたが、今年度で予算を計上しほとんどの修繕が完了していた。

また、統合後の中学校については、新生「厚沢部中学校」がスタートし、教員・生徒ともに新しい土台づくりに参加できる喜びを感じているとのことであり、開校から半年が経過したが大きな問題は発生していないとのことであった。今後も生徒がいきいきと中学校生活が送れるよう、各関係機関が最善の努力をしていくべきである。

4 国保病院の課題と今後の展望について

国保病院の課題と今後の展望について資料により説明を受けた。

町唯一の公立医療機関として、一般医療・緊急などの医療提供は、地域にとって必要不可欠な存在であるが、運営については、一般会計からの繰入に大きく依存しているのが現状であり、経営改善も必要である。今後は、医療収益の約6割を占める入院収益確保のため、函館市や近隣病院との連携強化により入院患者数を増加させることに努め、病床利用を向上させる必要がある。院長以下、職員が一丸となって、より良い医療サービスの提供が今後も継続されるよう経営改善に取り組むべきである。

○産業厚生常任委員会

第2回調査日 10月19日

1) 認定こども園整備事業の進捗状況について

認定こども園整備事業の進捗状況について資料説明を受け、現地調査を行った。

現在、来年度の開園に向けて建設工事は順調に進められているところである。一方、

園児送迎用バスの運行経路上には幅員の狭い場所や鋭角の交差点があり、特に冬期間においては安全な運行に支障が出る恐れがあるため、早急に通園路整備をするべきと考え

2) 道の駅あつさぶの整備について

道の駅あつさぶの整備について資料説明を受け、質疑応答を行った。道の駅あつさぶは北海道新幹線開業から2年が経過し、渡島・檜山管内各施設で集客が落ち込む中、売上・集客数共に増加している。しかし、駐車場が狭いため、利用客が十分に駐車できない、大型バスが立ち寄れない等の弊害が生じている。また、トイレの老朽化、商品の売り

場面積やストックヤードの不足等が課題となっている。これらのことを解決するため、道の駅第2駐車場公園、緑町コミュニティセンター、レクの森、近隣民地などの活用方法も検討しながら、早急に再整備の方針を決定するべきである。

3) GPS基地局設置事業について

GPS基地局設置事業について、資料説明を受け、質疑応答を行った。GPS基地局を活用したガイダンスシステムや自動操舵システムを導入することにより、資材の削減や労働の効率化、生産性の向上等、様々な効果が期待される。来年度に向けて、現在14戸の農家がGPS基地局の活用を要望しているが、今後はガイダンスシステム・自動操舵システムの実用性を広く周知し、より多くの農家がGPSを利用したスマート農業に取り組めるように努めるべきである。

4) 農道砂利敷き状況について

農道砂利敷き状況について資料説明を受け、現地調査を行った。農道整備事業ではこれまで農道の通行状態を改善し、農作物の効率的な輸送体系の確立と環境整備への負担軽減を目的として砂利敷きに係る経費を補助してきた。今年度、試験的に、傾斜がある農道に砂利の流出を防止する「止水エース」を導入したところ、大きな効果があった。

今後は砂利敷きだけではなく「止水エース」を普及させる等、より効率的な農道整備を期待するところである。

5) 農業活性化センター・農業振興公社の運営状況について

農業活性化センター及び農業振興公社について資料説明を受け、質疑応答を行った。

農業活性化センターでは6つの作物についての試験を行っており、試験結果については「活き活き農業」で公表しているところであるが、今後は農家と話し合う機会をより多く設け、作物試験に対する要望等の意見交換を行うことが望ましいと考える。

農業振興公社では、平成29年度の収益が受託作業では計画対比の110%、育苗事業が108%、農作物収入が96%となり、事業総体では108%と、年度計画を上回る収益を上げており、良好な運営がなされている。一方で職員の欠員があり、その確保が現在の課題となっている。課題を早期に解決し、経験豊富な職員の指導のもとで技術を習得させ、より良い体制が整えられること

を望むものである。

11月13日
臨時会

第4回臨時会が11月13日招集され、補正予算案1件を審議し、原案どおり可決されました。

一般会計

補正予算

歳入歳出それぞれ349万2千円を追加し、総額48億2638万8千円となりました。補正の内容は、道の駅周辺整備概算事業費算定業務委託料等です。

1月23、24日、25日に3地区で開催された議会報告会の内容については、今後の臨時号でお知らせします。

平成30年 厚沢部町議会議員出席状況一覧表

(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

委員会			総務文教						産業厚生						議長					
			山崎	孝	浜塚	久好	下川部洋伸	佐々木	宏	中山	俊勝	高田	一弥	松村	松雄	只野	勲	鈴木	祥司	
第 1 回 定 例 会	3月6日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月7日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月8日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	3月9日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第 2 回 定 例 会	6月14日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	6月15日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第3回 定 例 会	9月5日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	9月7日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	9月10日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
第 4 回 定 例 会	12月11日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	12月12日		○		○		○		○		○		○		○		○		○	
臨時会	第 1 回	1月26日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	第 2 回	2月15日	○		○		●		○		○		●		○		○		○	
	第 3 回	8月1日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
	第 4 回	11月13日	○		○		○		○		○		○		○		○		○	
各 常 任 委 員 会 活 動 状 況			○		○		○												○	
			○		○		●		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
			○		○		○		○											○
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
												○		○		○		○		
特別委 員 会	予 算 審 議	3月7日	○		○		○		○		○		○		○		○			
		3月8日	○		○		○		○		○		○		○		○			
		3月9日	○		○		○		○		○		○		○		○			
	決 算 審 査	9月5日	○				○		○		○		○		○		○			
		9月7日	○				○		○		○		○		○		○			
		9月10日	○				○		○		○		○		○		○			
	議 会 広 報 編 集	1月10日			○		○								○		○			
		1月17日			○		●								○		○			
		2月2日			○		●								○		○			
		4月13日			○		●								○		○			
		4月26日			○		●								○		○			
		5月9日			○		○								○		○		●	
		7月13日			○		○								○		○			
		7月24日			○		●								○		○			
8月6日				○		○								○		○				
10月17日				○		○								○		○				
11月7日				○		○								○		○				
議 会 運 営 委 員 会	1月26日		○		○				○		○						○		○	
	2月15日		○		○				●		○						○		○	
	2月28日		○		○				○		○						○		○	
	6月11日		●		○				○		○						○		○	
	8月1日		○		○				○		○						○		○	
	8月30日		○		○				○		○						○		○	
	12月5日		○		○				○		○						○		○	

○出席 ▲欠席（公用） ●欠席（葬儀、病欠、私用）

編集後記

平成も4月末で終わり、5月から新元号となり、月をまたぎ十日間の連休で超ゴールデンウィークと言っても過言ではありません。皆さんは30年4ヶ月の平成をどのように記憶していますか。人間というのは良い事は忘れますが悪いことは結構覚えていくものです。自身もこの地に転居して40年近くになりますが、昨年の様な出来事は一生忘れる事は出来ません。豪雪で軒下まで雪で覆われ、日中でも暗かった冬期間、記録的な暑さ、台風や西日本豪雨、道内ブラックラウトの胆振東部地震等、世相を表す漢字が「災」であり、まさにその通りだと思えます。ある生命保険会社が世相を反映した「創作四字熟語」の中で何点か掲載します。猛夏襲来・台量発生・地震暗来・関災空港・古里悩税等、どれもとんちが利いている昨年の出来事です。元号が変わる5月以降、「災い転じて福となす」のごとく、明るく平穏、そして豊作である事を願う昨今です。

(た)

議会広報編集特別委員会

委員長 松村 松雄

副委員長 只野 勲

委員 浜塚 久好

委員 下川部洋伸